

【取組内容①】『『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実』

算数科での活動

右の資料①は、算数科における単元進度計画表である。児童は、この計画表を基にして学習内容を選択・決定したり、自己の学びを調整したりできるようにしている。また、資料②は、学習過程を示している。Classroomに毎時間の学習内容や目標、学び方が掲載されており、これらを参考に学習を進めている。

もう少し具体的に1時間の内容を紹介します。最初の10分は、学習の保障の観点から1時間ごとの学習内容をレクチャーという形で教える。残りの時間は資料を②に示した学習の進め方に沿って、必ず取り組む課題と選択して取り組む課題に順に取り組んでいく。また、児童が個人・先生・友達・デジタル教材などから選択して、個々に合った学習環境を選択できるようにしている。さらに、プリントもPDFでClassroomに掲載しており、取り組みたい児童は自分で印刷して、自己の課題に合った学習ができるようにしている。

そして、残りの5分間で学習のまとめとして、学びの手応えを記入する。このような流れで、児童一人一人に合った学習が進められるようにしている。

最後に、この実践の成果として次の3点が挙げられる。1つ目は、児童のアウトプットする機会が大幅に増加したこと。2つ目は、教師が個別指導できる時間が確保できたこと。3つ目は、児童がつながり合い、個々の課題を解決しながら理解を深められること。各自で解決すべき問題が異なる中で、複数の学び方を選択できる環境があり、Google Chatを活用したり、友達や教師に直接聞いたりすることで、自分なりに解決することができるようになった。このような成果があったと考えている。

単元15：変わり方（6時間）						
時数	ページ	計算スキル	プリント	キュピオ	理解度	自己評価
1	P86-87		プリント①		3 →	0 →
2	P88	11			3 →	0 →
3	P89	12	プリント②		3 →	0 →
4	P90	13			3 →	0 →
5	P91	14	プリント③		3 →	0 →

資料①スプレッドシートで作成

1月26日（金）5時間目  
【単元】分数（8時間）  
【ゴール】  
B・・・帯分数を仮分数に直したり、整数と真分数に分けたりする計算の仕方が理解できる  
A・・・Bを生かして、帯分数の入った計算の問題を解決ができる  
S・・・Aに加えて、具体的な問題を使って、計算の仕方を振り返ることができる  
【進め方】  
（1）【課題の設定】帯分数のはいた計算は、どのように計算できるだろうか。  
（2）【情報収集】レクチャーP79の1・2  
＜視点＞1をいくつに分けた何個分か（○分の1のいくつつ）  
＜考え方＞仮分数に直す 整数と真分数に分ける  
★自分のめあてをチャットに送信  
（3）～自由進度学習～【整理・分析】＜学び方＞先生？個人？友達？班？スマレク？  
①【必ず取り組む】P79の3・4（丸付け）  
どちらの考え方で解いたかがわかるようにする。  
②【選択】もっと練習？プリント（紙/データ）？ 教科書？動画？  
＜動画①＞たし算<https://youtu.be/qjdwOa3370U>  
＜動画②＞ひき算<https://youtu.be/ISX3DbK1fvc?>  
（4）【まとめ・表現】  
①計画表に入力  
②課題について、学びの手応えを書く（新しく学んだこと）  
★こんな書き方ができると★  
1今日の授業で学習したこと（今日は、○○について学習しました。）  
2考えたこと（～～という視点で見ると（・  
■を解くときのポイントは、○○だと思  
3そして・・・ということ学びました。

資料②Classroomに掲載